

年金積立 インターナショナル・グロース・ファンド  
〈愛称 DC Iグロース〉

## 運用報告書(全体版)

第23期(決算日 2024年4月25日)

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。  
「年金積立 インターナショナル・グロース・ファンド」は、2024年4月25日に第23期の決算を行ないましたので、期中の運用状況をご報告申しあげます。  
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申しあげます。

## 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式	
信託期間	2001年10月25日から原則無期限です。	
運用方針	主として「ベスト・バランス/海外株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、「MSCI-KOKUSAIインデックス(税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース)」を上回る投資成果をめざします。	
主要運用対象	年金積立 インターナショナル・グロース・ファンド	「ベスト・バランス/海外株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	ベスト・バランス/海外株式マザーファンド	世界各国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
組入制限	年金積立 インターナショナル・グロース・ファンド	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	ベスト・バランス/海外株式マザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

&lt;958417&gt;

## 日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号  
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号: 0120-25-1404  
午前9時~午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCI-KOKUSAIインデックス (税引後配当込み・円ヘッジなし・円ベース)		株組入比率	投資信託 証券組入比率	純資産額
	(分配落)	税金 分配	期中 騰落	(ベンチマーク)	期中 騰落			
	円	円	%		%	%	%	百万円
19期(2020年4月27日)	23,805	10	△ 3.6	269.87	△10.6	91.3	3.0	2,173
20期(2021年4月26日)	36,830	10	54.8	410.08	52.0	92.5	2.6	4,355
21期(2022年4月25日)	36,804	10	△ 0.0	490.63	19.6	90.4	3.0	4,501
22期(2023年4月25日)	36,195	0	△ 1.7	509.26	3.8	93.5	2.6	4,414
23期(2024年4月25日)	53,044	0	46.6	704.15	38.3	94.8	1.7	6,191

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「MSCI-KOKUSAIインデックス」は、「MSCI Inc.」が発表している、日本を除く世界の主要国の株式市場の合成パフォーマンスを表す指数です。同指数の(円ヘッジなし・円ベース)とは、現地通貨ベースの指数をヘッジを行わずに円換算したものです。なお、設定時を100として2024年4月25日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		MSCI-KOKUSAIインデックス (税引後配当込み・円ヘッジなし・円ベース)		株組入比率	投資信託 証券組入比率
	騰落率	(ベンチマーク)	騰落率			
(期首) 2023年4月25日	円 36,195	% —	509.26	% —	% 93.5	% 2.6
4月末	35,984	△ 0.6	506.47	△ 0.5	92.8	2.7
5月末	38,375	6.0	530.25	4.1	93.2	2.5
6月末	41,099	13.5	572.12	12.3	93.5	2.7
7月末	41,675	15.1	580.79	14.0	92.6	2.6
8月末	41,890	15.7	590.65	16.0	92.6	2.7
9月末	40,661	12.3	576.24	13.2	91.6	2.7
10月末	39,186	8.3	556.91	9.4	91.3	2.5
11月末	43,147	19.2	600.30	17.9	91.9	2.5
12月末	44,218	22.2	611.49	20.1	91.4	2.5
2024年1月末	48,053	32.8	648.04	27.3	91.9	2.4
2月末	51,940	43.5	679.36	33.4	90.9	2.4
3月末	53,656	48.2	707.74	39.0	92.1	2.3
(期末) 2024年4月25日	円 53,044	% 46.6	704.15	% 38.3	% 94.8	% 1.7

(注) 騰落率は期首比です。

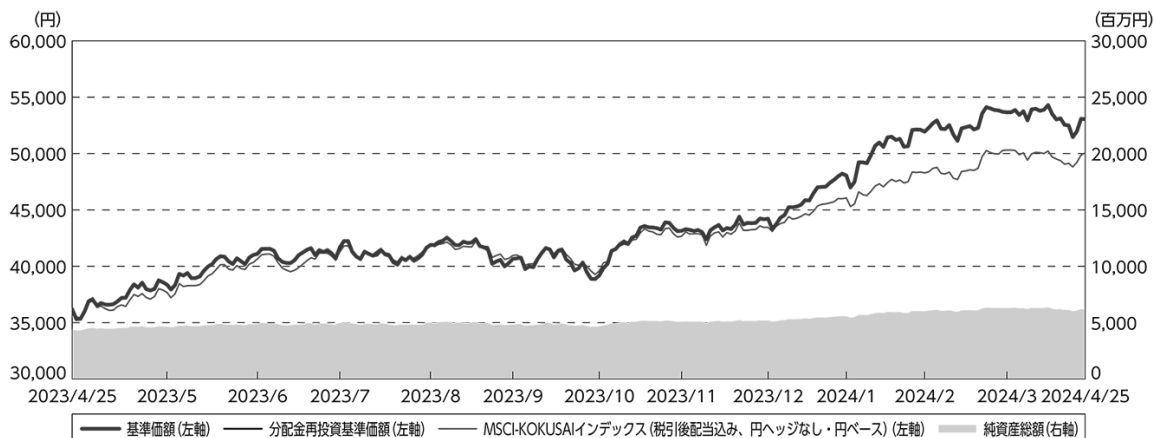
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

## ○運用経過

(2023年4月26日～2024年4月25日)

## 期中の基準価額等の推移



期首:36,195円

期末:53,044円 (既払分配金 (税込み):0円)

騰落率: 46.6% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSCI-KOKUSAIインデックス (税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース) は、期首 (2023年4月25日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) MSCI-KOKUSAIインデックス (税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース) は当ファンドのベンチマークです。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、「ベスト・バランス/海外株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な観点から、MSCI-KOKUSAIインデックス (税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース) の動きを上回る投資成果の獲得をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

## &lt;値上がり要因&gt;

- ・インフレ減速で金融引き締め of 長期化懸念が後退し、欧米の中央銀行による利下げ期待が強まり幅広い地域で株式が買われたこと。
- ・生成AI (人工知能) の需要急増で成長期待が高まった半導体関連株、肥満症治療薬を手掛ける製薬株が大幅に上昇し、指数をけん引したこと。
- ・日米金利差の拡大を背景に円安が進行したこと。

<値下がり要因>

- ・インフレの長期化観測を背景に一時米国長期金利が急上昇し、株式の相対的な割高感が嫌気されリスクオフの動きが広がったこと。

投資環境

(株式市況)

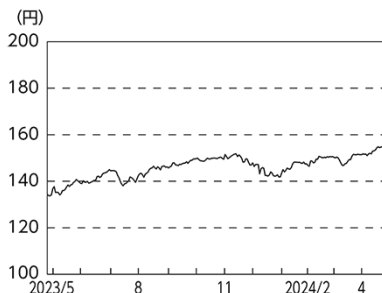
期間中のグローバル株式市場は上昇しました。

世界的な金融引き締めによる景気後退懸念が重荷となる中、景気に左右されにくいディフェンシブ株が下支えし、もみ合う展開が続いたのち、生成AIの需要拡大で成長期待が高まった半導体関連株を物色する動きが活発化し上昇しました。その後も市場予想を上回る決算が相つぎ上昇基調で推移しましたが、米国国債の格下げを受けて下落に転じると、米中対立激化、中国の景気減速、原油高によるインフレの長期化懸念が重荷となりました。米国長期金利は一時5%台をつけるなど、金利の高止まり観測が警戒され、株式市場は相対的な割高感からハイテク株や高配当株を中心に下げ足を早めました。しかし2023年11月に入りインフレ減速を背景に米国長期金利が大幅に低下すると、買い安心感が広がり株式市場は切り返しました。その後も米国連邦公開市場委員会（FOMC）の結果を受け早期利下げ観測が強まったことから、米国経済が軟着陸できるとの期待が膨らみ、投資家は急速にリスクオン姿勢を強めました。引き続き成長期待の高い半導体関連株が選好されたほか、肥満症治療薬の需要拡大期待から製薬会社も大幅に上昇し、指数を押し上げました。市場予想を上回る企業決算の底堅さと早期利下げ観測を支えに高値を迫る展開が続きましたが、2024年4月に入ると米国の利下げ観測の後退が嫌気され、上げ幅をやや縮めて期間末を迎えました。

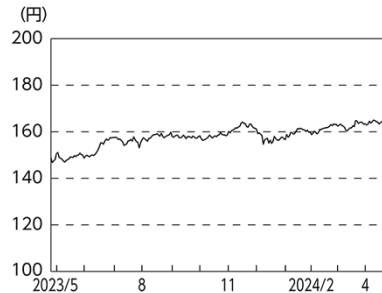
(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移



円／ユーロの推移



## 当ファンドのポートフォリオ

(当ファンド)

当ファンドは、「ベスト・バランス／海外株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

(ベスト・バランス／海外株式マザーファンド)

世界各国の金融商品取引所上場株および店頭登録株を中心に厳選投資を行ない、中長期的な観点から、世界の株式市場全体の動き（MSCI-KOKUSAIインデックス（税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース））を上回る投資成果の獲得をめざして運用を行ないました。銘柄選定においては、原則として、企業収益の加速、成長局面の評価に焦点をあてたファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）調査に基づくボトムアップの銘柄選択に注力しました。

また、産業間、投資対象国間で資産配分を図ることによりリスクの低減に努めました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

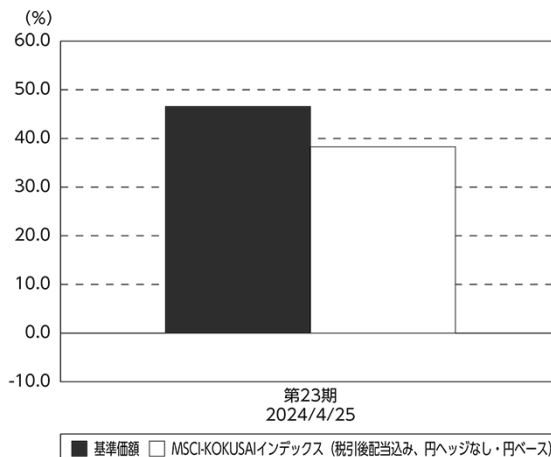
期間中における基準価額は、46.6%の値上がりとなり、ベンチマークである「MSCI-KOKUSAIインデックス（税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース）」の上昇率38.3%を概ね8.3%上回りました。

ベンチマークとの差異における主な要因は以下の通りです。

<プラス要因>

- ・銘柄選択では、情報技術セクターや資本財・サービスセクターなどにおける銘柄選択がプラスに寄与しました。
- ・銘柄では、米国の配車サービス会社「Uber Technologies」、米国に本社を置く世界的なeコマース会社「Amazon.com」、米国のSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）運営会社「Meta Platforms」がプラスに寄与しました。
- ・業種配分では、コミュニケーション・サービスセクターのオーバーウェイト、生活必需品セクターのアンダーウェイトがプラスに寄与しました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) MSCI-KOKUSAIインデックス（税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース）は当ファンドのベンチマークです。

### <マイナス要因>

- ・銘柄選択では、素材セクターや金融セクターなどにおける銘柄選択がマイナスに影響しました。
- ・銘柄では、米国の医療機器メーカー「Insulet」、マカオ、シンガポールで事業を展開する、米国のカジノ運営会社「Las Vegas Sands」、米国の遺伝子機能・変異の解析ツール開発会社「Illumina」がマイナスに影響しました。
- ・業種配分では、不動産セクターのオーバーウェイト、金融セクターのアンダーウェイトがマイナスに影響しました。

## 分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第23期
	2023年4月26日～ 2024年4月25日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	43,044

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

### ○今後の運用方針

#### (当ファンド)

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「ベスト・バランス／海外株式マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

#### (ベスト・バランス／海外株式マザーファンド)

引き続き、世界各国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式を中心に厳選投資を行ない、中長期的な観点から、世界の株式市場全体の動き(MSCI-KOKUSAIインデックス(税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース))を上回る投資成果の獲得をめざして運用を行なう方針です。原則として、企業収益の加速、成長局面の評価に焦点をあてたファンダメンタルズ調査に基づくボトムアップの銘柄選択に注力していく方針です。将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年4月26日～2024年4月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	858	1.980	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(381)	(0.880)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(429)	(0.990)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	( 48)	(0.110)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	4	0.009	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	( 4)	(0.009)	
（ 投 資 信 託 証 券 ）	( 0)	(0.000)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	2	0.006	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	( 2)	(0.006)	
（ 投 資 信 託 証 券 ）	( 0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	30	0.068	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 28)	(0.064)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 2)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	894	2.063	
期中の平均基準価額は、43,323円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

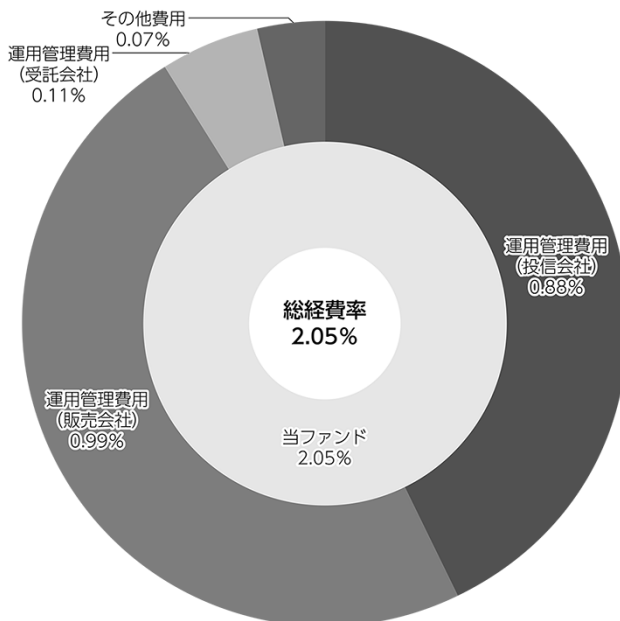
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.05%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



○売買及び取引の状況

(2023年4月26日～2024年4月25日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ベスト・バランス/海外株式マザーファンド	千口 29,741	千円 199,839	千口 84,974	千円 501,186

○株式売買比率

(2023年4月26日～2024年4月25日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	ベスト・バランス/海外株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	3,169,803千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	4,730,075千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.67

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2023年4月26日～2024年4月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2023年4月26日～2024年4月25日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2023年4月26日～2024年4月25日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2024年4月25日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ベスト・バランス／海外株式マザーファンド	873,820	818,587	6,092,907

(注) 親投資信託の2024年4月25日現在の受益権総口数は、818,587千口です。

○投資信託財産の構成

(2024年4月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ベスト・バランス／海外株式マザーファンド	6,092,907	97.4
コール・ローン等、その他	159,532	2.6
投資信託財産総額	6,252,439	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) ベスト・バランス／海外株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(6,089,889千円)の投資信託財産総額(6,104,212千円)に対する比率は99.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売相場場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=155.53円、1カナダドル=113.56円、1ユーロ=166.49円、1イギリスポンド=193.87円、1スイスフラン=170.02円、1スウェーデンクローナ=14.30円、1ノルウェークローネ=14.16円、1デンマーククローネ=22.32円、1オーストラリアドル=101.11円、1香港ドル=19.86円、1南アフリカランド=8.09円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年4月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	6,252,439,704
コール・ローン等	159,531,561
ベスト・バランス/海外株式マザーファンド(評価額)	6,092,907,785
未収利息	358
(B) 負債	61,253,953
未払解約金	6,083,454
未払信託報酬	55,048,231
その他未払費用	122,268
(C) 純資産総額(A-B)	6,191,185,751
元本	1,167,171,474
次期繰越損益金	5,024,014,277
(D) 受益権総口数	1,167,171,474口
1万口当たり基準価額(C/D)	53,044円

(注) 当ファンドの期首元本額は1,219,605,590円、期中追加設定元本額は203,281,725円、期中一部解約元本額は255,715,841円です。

(注) 1口当たり純資産額は5.3044円です。

○損益の状況 (2023年4月26日～2024年4月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 16,724
受取利息	15,043
支払利息	△ 31,767
(B) 有価証券売買損益	1,904,376,836
売買益	2,088,329,480
売買損	△ 183,952,644
(C) 信託報酬等	△ 102,830,978
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,801,529,134
(E) 前期繰越損益金	593,829,449
(F) 追加信託差損益金	2,628,655,694
(配当等相当額)	( 2,601,341,325)
(売買損益相当額)	( 27,314,369)
(G) 計(D+E+F)	5,024,014,277
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	5,024,014,277
追加信託差損益金	2,628,655,694
(配当等相当額)	( 2,601,787,716)
(売買損益相当額)	( 26,867,978)
分配準備積立金	2,395,358,583

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 親投資信託の信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要した費用のうち、2023年4月26日～2024年4月25日の期間に当ファンドが負担した費用は22,734,318円です。

(注) 分配金の計算過程(2023年4月26日～2024年4月25日)は以下の通りです。

項 目	2023年4月26日～ 2024年4月25日
a. 配当等収益(経費控除後)	33,931,656円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	1,708,815,783円
c. 信託約款に定める収益調整金	2,628,655,694円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	652,611,144円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	5,024,014,277円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	43,044円
g. 分配金	0円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

## ○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	0円
------------------	----

## ○お知らせ

### 約款変更について

2023年4月26日から2024年4月25日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、新NISA制度における成長投資枠の要件に適合させるため、当該ファンドにて行なうデリバティブ取引および外国為替予約取引の利用目的を明確化すべく、2023年7月26日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。(付表、第20条、第21条、第22条、第27条)
- 当ファンドについて、2024年1月26日付けにて運用目標とするベンチマーク表記を「MSCI-KOKUSAIインデックス (円ヘッジなし・円ベース)」から「MSCI-KOKUSAIインデックス (税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース)」に変更いたしました。  
当ファンドに関して、当該ベンチマークが「配当込み」の値動きであることを明確化するとともに、投資する海外資産から配当を受け取る際には税金が控除されるという運用実態と平仄を合わせることが受益者にとってわかりやすい情報開示となり、より適切な投資判断につながるとの考えから、このたび変更いたしました。(付表)

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

# ベスト・バランス／海外株式マザーファンド

## 運用報告書

第23期（決算日 2024年4月25日）  
（2023年4月26日～2024年4月25日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2001年4月27日から原則無期限です。
運用方針	中長期的な観点から、「MSCI-KOKUSAIインデックス（税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース）」を上回る投資成果の獲得をめざします。
主要運用対象	世界各国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

## ファンド概要

世界各国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式を中心に厳選投資を行ない、中長期的な観点から、世界の株式市場全体の動き（MSCI-KOKUSAIインデックス（税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース））を上回る投資成果の獲得をめざします。

投資対象銘柄については、グローバルな視点で企業調査、比較を行ない、産業の先導的立場にある高い質の大型成長企業に厳選投資をします。また、産業間、投資対象国間で資産配分を図ることによりリスクの低減につとめます。

株式の組入比率は原則として高位を維持します。

外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、為替ヘッジを行なうことがあります。為替ヘッジ比率は、マクロ環境、金利動向、ヘッジコストなどを勘案して決定します。また、ヘッジコストなどを勘案して、当該外貨建資産と異なる通貨により為替ヘッジを行なうこともあります。

ただし、資金動向、市況動向の急激な変化が生じたときなどならびに信託財産の規模によっては、上記の運用ができない場合があります。

日興アセットマネジメント

<935859>

## 【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		MSCI-KOKUSAIインデックス (税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース) (ベンチマーク)		株組入比率	投資信託 組入比率	純資産額
	騰落	中率	騰落	中率			
	円	%		%	%	%	百万円
19期(2020年4月27日)	30,189	△ 2.2	236.87	△10.6	93.9	3.1	2,111
20期(2021年4月26日)	48,224	59.7	359.92	52.0	94.9	2.7	4,244
21期(2022年4月25日)	49,109	1.8	430.63	19.6	92.7	3.0	4,386
22期(2023年4月25日)	49,279	0.3	446.98	3.8	95.8	2.7	4,306
23期(2024年4月25日)	74,432	51.0	618.04	38.3	96.4	1.7	6,092

(注)「MSCI-KOKUSAIインデックス」は、「MSCI Inc.」が発表している、日本を除く世界の主要国の株式市場の合成パフォーマンスを表す指数です。(円ヘッジなし・円ベース)とは、現地通貨ベースの指数をヘッジを行わずに円換算したものです。なお、設定時を100として2024年4月25日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		MSCI-KOKUSAIインデックス (税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース) (ベンチマーク)		株組入比率	投資信託 組入比率
	騰落	率	騰落	率		
(期首) 2023年4月25日	円	%		%	%	%
	49,279	—	446.98	—	95.8	2.7
4月末	48,996	△ 0.6	444.53	△ 0.5	95.4	2.7
5月末	52,427	6.4	465.40	4.1	95.8	2.6
6月末	56,340	14.3	502.15	12.3	96.2	2.7
7月末	57,259	16.2	509.76	14.0	95.4	2.6
8月末	57,662	17.0	518.41	16.0	95.2	2.8
9月末	56,020	13.7	505.76	13.2	94.1	2.7
10月末	54,028	9.6	488.80	9.4	94.0	2.6
11月末	59,740	21.2	526.89	17.9	94.7	2.6
12月末	61,358	24.5	536.71	20.1	93.9	2.6
2024年1月末	66,934	35.8	568.79	27.3	94.7	2.5
2月末	72,598	47.3	596.28	33.4	93.5	2.5
3月末	75,193	52.6	621.19	39.0	95.0	2.4
(期末) 2024年4月25日	74,432	51.0	618.04	38.3	96.4	1.7

(注)騰落率は期首比です。

## ○運用経過

(2023年4月26日～2024年4月25日)

## 基準価額の推移

期間の初め49,279円の基準価額は、期間末に74,432円となり、騰落率は+51.0%となりました。

## 基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

## &lt;値上がり要因&gt;

- ・インフレ減速で金融引き締めが長期化懸念が後退し、欧米の中央銀行による利下げ期待が強まり幅広い地域で株式が買われたこと。
- ・生成AI（人工知能）の需要急増で成長期待が高まった半導体関連株、肥満症治療薬を手掛ける製薬株が大幅に上昇し、指数をけん引したこと。
- ・日米金利差の拡大を背景に円安が進行したこと。

## &lt;値下がり要因&gt;

- ・インフレの長期化観測を背景に一時米国長期金利が急上昇し、株式の相対的な割高感が嫌気されリスクオフの動きが広がったこと。

基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2023/04/25	2024/04/12	2023/04/26	2024/04/25
49,279円	76,165円	48,043円	74,432円

## (株式市況)

期間中のグローバル株式市場は上昇しました。

世界的な金融引き締めによる景気後退懸念が重荷となる中、景気に左右されにくいディフェンシブ株が下支えし、もみ合う展開が続いたのち、生成AIの需要拡大で成長期待が高まった半導体関連株を物色する動きが活発化し上昇しました。その後も市場予想を上回る決算が相つぎ上昇基調で推移しましたが、米国国債の格下げを受けて下落に転じると、米中対立激化、中国の景気減速、原油高によるインフレの長期化懸念が重荷となりました。米国長期金利は一時5%台をつけるなど、金利の高止まり観測が警戒され、株式市場は相対的な割高感からハイテク株や高配当株を中心に下げ足を早めました。しかし2023年11月に入りインフレ減速を背景に米国長期金利が大幅に低下すると、買い安心感が広がり株式市場は切り返しました。その後も米国連邦公開市場委員会（FOMC）の結果を受け早期利下げ観測が強まったことから、米国経済が軟着陸できるとの期待が膨らみ、投資家は急速にリスクオン姿勢を強めました。引き続き成長期待の高い半導体関連株が選好されたほか、肥満症治療薬の需要拡大期待から製薬会社も大幅に上昇し、指数を押し上げました。市場予想を上回る企業決算の底堅さと早期利下げ観測を支えに高値を追う展開が続きましたが、2024年4月に入ると米国の利下げ観測の後退が嫌気され、上げ幅をやや縮めて期間末を迎えました。

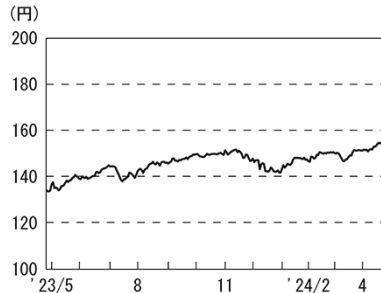
MSCI-KOKUSAIインデックス（税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース）（指数化）の推移



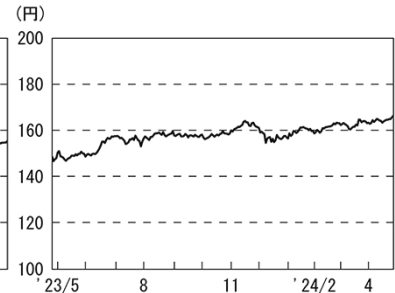
## (為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移



円／ユーロの推移





## ポートフォリオ

世界各国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式を中心に厳選投資を行ない、中長期的な観点から、世界の株式市場全体の動き（MSCI-KOKUSAIインデックス（税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース））を上回る投資成果の獲得をめざして運用を行ないました。銘柄選定においては、原則として、企業収益の加速、成長局面の評価に焦点をあてたファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）調査に基づくボトムアップの銘柄選択に注力しました。

また、産業間、投資対象国間で資産配分を図ることによりリスクの低減に努めました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

期間中における基準価額は、51.0%の値上がりとなり、ベンチマークである「MSCI-KOKUSAIインデックス（税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース）」の上昇率38.3%を概ね12.8%上回りました。

ベンチマークとの差異における主な要因は以下の通りです。

### <プラス要因>

- ・銘柄選択では、情報技術セクターや資本財・サービスセクターなどにおける銘柄選択がプラスに寄与しました。
- ・銘柄では、米国の配車サービス会社「Uber Technologies」、米国に本社を置く世界的なeコマース会社「Amazon.com」、米国のSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）運営会社「Meta Platforms」がプラスに寄与しました。
- ・業種配分では、コミュニケーション・サービスセクターのオーバーウェイト、生活必需品セクターのアンダーウェイトがプラスに寄与しました。

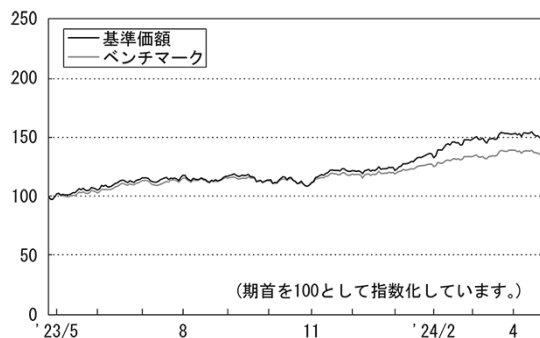
### <マイナス要因>

- ・銘柄選択では、素材セクターや金融セクターなどにおける銘柄選択がマイナスに影響しました。
- ・銘柄では、米国の医療機器メーカー「Insulet」、マカオ、シンガポールで事業を展開する、米国のカジノ運営会社「Las Vegas Sands」、米国の遺伝子機能・変異の解析ツール開発会社「Illumina」がマイナスに影響しました。
- ・業種配分では、不動産セクターのオーバーウェイト、金融セクターのアンダーウェイトがマイナスに影響しました。

## ○今後の運用方針

引き続き、世界各国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式を中心に厳選投資を行ない、中長期的な観点から、世界の株式市場全体の動き（MSCI-KOKUSAIインデックス（税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース））を上回る投資成果の獲得をめざして運用を行なう方針です。原則として、企業収益の加速、成長局面の評価に焦点をあてたファンダメンタルズ調査に基づくボトムアップの銘柄選択に注力していく方針です。将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

基準価額とベンチマーク（指数化）の推移



## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年4月26日～2024年4月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	円 6 (6) (0)	% 0.010 (0.009) (0.000)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	4 (4) (0)	0.006 (0.006) (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	39 (39) (0)	0.066 (0.065) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	49	0.082	
期中の平均基準価額は、59,879円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2023年4月26日～2024年4月25日)

## 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	アメリカ	百株 633	千アメリカドル 8,566	百株 819	千アメリカドル 8,406
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	125	419	—	—
	フランス	11	450	34	424
	オランダ	9	262	49	419
	スペイン	10 (—)	37 (△0.453)	21	69
国	イギリス	—	千イギリスポンド —	267	千イギリスポンド 676
	スイス	— (—)	千スイスフラン — (△ 1)	105	千スイスフラン 1,007
	スウェーデン	—	千スウェーデンクローナ —	65	千スウェーデンクローナ 1,788
	香港	7	千香港ドル 235	242	千香港ドル 2,081

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) ( )内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## 投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	アメリカ	口	千アメリカドル	口	千アメリカドル
	PROLOGIS INC	288	36	2,182	230
	WELLTOWER INC	436	35	993	82
	小 計	724	71	3,175	312

(注) 金額は受け渡し代金。

## ○株式売買比率

(2023年4月26日～2024年4月25日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	3,169,803千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	4,730,075千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.67

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

## ○利害関係人との取引状況等

(2023年4月26日～2024年4月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2023年4月26日～2024年4月25日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## ○組入資産の明細

(2024年4月25日現在)

## 外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円	
AGILENT TECHNOLOGIES INC	31	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ALBEMARLE CORP	14	—	—	—	素材
AMERICAN EXPRESS CO	39	33	791	123,100	金融サービス
BLACKSTONE INC	45	39	493	76,697	金融サービス
DAYFORCE INC	55	—	—	—	商業・専門サービス
CHIPOTLE MEXICAN GRILL INC	—	2	635	98,778	消費者サービス
GENERAL DYNAMICS CORP	16	17	502	78,085	資本財
GOLDMAN SACHS GROUP INC	—	13	555	86,389	金融サービス
HUBSPOT INC	8	9	615	95,688	ソフトウェア・サービス
LAS VEGAS SANDS CORP	109	101	464	72,214	消費者サービス
ELI LILLY & CO	22	16	1,228	191,089	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MASTERCARD INC - A	28	26	1,235	192,203	金融サービス
S&P GLOBAL INC	13	12	508	79,061	金融サービス
PARKER HANNIFIN CORP	—	8	441	68,743	資本財
SCHLUMBERGER LTD	140	92	452	70,415	エネルギー
SERVICENOW INC	10	9	680	105,856	ソフトウェア・サービス
SHOPIFY INC - CLASS A	—	76	554	86,188	ソフトウェア・サービス
SNOWFLAKE INC-CLASS A	27	27	424	66,073	ソフトウェア・サービス
SPOTIFY TECHNOLOGY SA	—	22	627	97,583	メディア・娯楽
BLOCK INC	78	—	—	—	金融サービス
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	48	49	663	103,155	半導体・半導体製造装置
THE WALT DISNEY CO.	51	—	—	—	メディア・娯楽
TJX COMPANIES INC	78	63	603	93,833	一般消費財・サービス流通・小売り
UBER TECHNOLOGIES INC	180	156	1,082	168,404	運輸
ZOETIS INC	27	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ADOBE INC	—	9	462	71,906	ソフトウェア・サービス
ADVANCED MICRO DEVICES	65	60	922	143,488	半導体・半導体製造装置
AIRBNB INC-CLASS A	41	28	462	71,876	消費者サービス
AMAZON.COM INC	150	139	2,460	382,725	一般消費財・サービス流通・小売り
ARM HOLDINGS PLC-ADR	—	6	69	10,749	半導体・半導体製造装置
CELSIUS HOLDINGS INC	—	63	460	71,612	食品・飲料・タバコ
ETSY INC	40	—	—	—	一般消費財・サービス流通・小売り
EXACT SCIENCES CORP	—	67	426	66,410	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
META PLATFORMS INC-CLASS A	31	31	1,574	244,845	メディア・娯楽
ALPHABET INC-CL C	132	121	1,956	304,253	メディア・娯楽
ILLUMINA INC	21	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
INTUITIVE SURGICAL INC	16	15	587	91,395	ヘルスケア機器・サービス
INSULET CORP	16	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
LULULEMON ATHLETICA INC	15	13	487	75,870	耐久消費財・アパレル
MARVELL TECHNOLOGY INC	—	67	437	68,071	半導体・半導体製造装置
T-MOBILE US INC	48	33	547	85,082	電気通信サービス
MICROSOFT CORP	29	49	2,010	312,761	ソフトウェア・サービス
MONGODB INC	13	13	482	75,010	ソフトウェア・サービス
NETFLIX INC	—	10	560	87,114	メディア・娯楽
NVIDIA CORP	—	29	2,318	360,611	半導体・半導体製造装置
OKTA INC	38	—	—	—	ソフトウェア・サービス

銘柄	株数	金額	期首(前期末)		当期		業種等
			株数	金額	株数	金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円			
ON SEMICONDUCTOR CORP	45	—	—	—	—	—	半導体・半導体製造装置
RYANAIR HOLDINGS PLC-SP ADR	47	40	565	88,028	—	—	運輸
SOLAREEDGE TECHNOLOGIES INC	13	—	—	—	—	—	半導体・半導体製造装置
ZOOMINFO TECHNOLOGIES INC	76	—	—	—	—	—	メディア・娯楽
LARSEN & TOUBRO REG S-GDR	—	104	458	71,234	—	—	資本財
SAMSUNG ELECTR REG S-GDR	—	3	555	86,391	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
小計	株数・金額	1,874	1,688	30,367	4,723,005	—	
	銘柄数<比率>	38	39	—	<77.5%>	—	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ				
INFINEON TECHNOLOGIES AG	—	125	393	65,582	—	—	半導体・半導体製造装置
小計	株数・金額	—	125	393	65,582	—	
	銘柄数<比率>	—	1	—	<1.1%>	—	
(ユーロ…フランス)							
ACCOR SA	141	131	553	92,112	—	—	消費者サービス
CAP GEMINI SA	21	—	—	—	—	—	ソフトウェア・サービス
L'OREAL	—	11	489	81,579	—	—	家庭用品・パーソナル用品
SCHNEIDER ELECTRIC SE	35	33	706	117,612	—	—	資本財
小計	株数・金額	198	175	1,749	291,304	—	
	銘柄数<比率>	3	3	—	<4.8%>	—	
(ユーロ…オランダ)							
ARGENX SE	—	5	206	34,370	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ASML HOLDING NV	6	6	553	92,147	—	—	半導体・半導体製造装置
AIRBUS GROUP SE	51	47	766	127,531	—	—	資本財
FERRARI NV	15	10	407	67,920	—	—	自動車・自動車部品
HEINEKEN NV	48	38	354	59,096	—	—	食品・飲料・タバコ
UNIVERSAL MUSIC GROUP BV	168	141	381	63,568	—	—	メディア・娯楽
小計	株数・金額	289	249	2,670	444,635	—	
	銘柄数<比率>	5	6	—	<7.3%>	—	
(ユーロ…スペイン)							
CELLNEX TELECOM SA	93	82	255	42,491	—	—	電気通信サービス
小計	株数・金額	93	82	255	42,491	—	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<0.7%>	—	
ユーロ計	株数・金額	581	632	5,069	844,013	—	
	銘柄数<比率>	9	11	—	<13.9%>	—	
(イギリス)			千イギリスポンド				
ANGLO AMERICAN PLC	179	—	—	—	—	—	素材
ASTRAZENECA PLC	45	41	472	91,575	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
DIAGEO PLC	82	—	—	—	—	—	食品・飲料・タバコ
FLUTTER ENTERTAINMENT PLC	36	33	494	95,937	—	—	消費者サービス
小計	株数・金額	342	74	967	187,513	—	
	銘柄数<比率>	4	2	—	<3.1%>	—	
(スイス)			千スイスフラン				
JULIUS BAER GROUP LTD	63	—	—	—	—	—	金融サービス
LONZA GROUP AG-REG	6	—	—	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CIE FINANCIERE RICHEMON-REG	35	—	—	—	—	—	耐久消費財・アパレル
小計	株数・金額	105	—	—	—	—	
	銘柄数<比率>	3	—	—	<—%>	—	
(スウェーデン)			千スウェーデンクローナ				
ASSA ABLOY AB-B	173	108	3,262	46,660	—	—	資本財
小計	株数・金額	173	108	3,262	46,660	—	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<0.8%>	—	

銘柄	株数	当期		業種等	
		株数	評価額		
(香港) TECHTRONIC INDUSTRIES CO TENCENT HOLDINGS LTD	百株 237 101	百株 — 102	千香港ドル — 3,534	千円 — 70,190	資本財 メディア・娯楽
小計	株数・金額 338	102	3,534	70,190	
銘柄数<比率>	2	1	—	<1.2%>	
合計	株数・金額 3,416	2,606	—	5,871,383	
銘柄数<比率>	57	54	—	<96.4%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

## 外国投資信託証券

銘柄	口数	当期		比率	
		口数	評価額		
(アメリカ) PROLOGIS INC WELLTOWER INC	口 3,302 6,049	口 1,408 5,492	千アメリカドル — 514	千円 22,595 80,035	% 0.4 1.3
合計	口数・金額 9,351	6,900	659	102,630	
銘柄数<比率>	2	2	—	<1.7%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

## ○投資信託財産の構成

(2024年4月25日現在)

項目	当期	
	評価額	比率
株式	千円 5,871,383	% 96.2
投資証券	102,630	1.7
コール・ローン等、その他	130,199	2.1
投資信託財産総額	6,104,212	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産 (6,089,889千円) の投資信託財産総額 (6,104,212千円) に対する比率は99.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=155.53円、1カナダドル=113.56円、1ユーロ=166.49円、1イギリスポンド=193.87円、1スイスフラン=170.02円、1スウェーデンクローナ=14.30円、1ノルウェークローネ=14.16円、1デンマーククローネ=22.32円、1オーストラリアドル=101.11円、1香港ドル=19.86円、1南アフリカランド=8.09円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年4月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	6,104,212,275
コール・ローン等	102,328,926
株式(評価額)	5,871,383,438
投資証券(評価額)	102,630,800
未収入金	26,359,891
未収配当金	1,509,214
未収利息	6
(B) 負債	11,329,835
未払金	11,329,835
(C) 純資産総額(A-B)	6,092,882,440
元本	818,587,138
次期繰越損益金	5,274,295,302
(D) 受益権総口数	818,587,138口
1万口当たり基準価額(C/D)	74,432円

(注) 当ファンドの期首元本額は873,820,220円、期中追加設定元本額は29,741,054円、期中一部解約元本額は84,974,136円です。

(注) 2024年4月25日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・年金積立国際・グロース・ファンド 818,587,138円

(注) 1口当たり純資産額は7,4432円です。

## ○損益の状況 (2023年4月26日～2024年4月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	38,507,394
受取配当金	37,216,820
受取利息	1,281,291
その他収益金	10,170
支払利息	△ 887
(B) 有価証券売買損益	2,052,923,482
売買益	2,414,793,333
売買損	△ 361,869,851
(C) 保管費用等	△ 3,285,641
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,088,145,235
(E) 前期繰越損益金	3,432,264,166
(F) 追加信託差損益金	170,098,337
(G) 解約差損益金	△ 416,212,436
(H) 計(D+E+F+G)	5,274,295,302
次期繰越損益金(H)	5,274,295,302

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。



## ○お知らせ

---

### 約款変更について

2023年4月26日から2024年4月25日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、新NISA制度における成長投資枠の要件に適合させるため、当該ファンドにて行なうデリバティブ取引および外国為替予約取引の利用目的を明確化するべく、2023年7月26日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。(付表、第17条、第18条、第19条、第24条)
- 当ファンドについて、2024年1月26日付けにて運用目標とするベンチマーク表記を「MSCI-KOKUSAIインデックス(円ヘッジなし・円ベース)」から「MSCI-KOKUSAIインデックス(税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース)」に変更いたしました。  
当ファンドに関して、当該ベンチマークが「配当込み」の値動きであることを明確化するとともに、投資する海外資産から配当を受け取る際には税金が控除されるという運用実態と平仄を合わせることが受益者にとってわかりやすい情報開示となり、より適切な投資判断につながるとの考えから、このたび変更いたしました。(付表)